

大会宣言

新座市のお母さん、女性のみなさん、男性のみなさん
新座母親大会は、今年で40回目の記念大会を迎えることができました。

東日本大震災から3年半が経過した現在も、復興はなかなか進んでいません。福島第一原発事故の終息には程遠い状態が続いています。それにもかかわらず、安倍政権は、原発再稼働などの原発推進政策をもくろんでいます。「危険な原発はいらぬ、原発に頼らない社会にしよう」という国民の運動は広がりつづけています。

自民党安倍政権は、暴走を続けています。7月には集団的自衛権の行使を閣議決定しました。アメリカが起こす戦争に日本の自衛隊が参加するという、憲法違反の決定で、これを許すことはできません。「戦争はしない」と決めた憲法九条こそ、守っていかなくてはなりません。2014年4月からは消費税を8パーセントに引き上げました。所得が大きく減っている国民から8兆円も奪い、巨額の内部留保を抱える大企業に減税をするという実態が明らかになってきています。社会保障の予算を減らし続け、年金も減るばかりです。私たちのくらしは厳しさを増しています。しかも2015年10月には税率を10パーセントに引き上げようとしています。このような政策に私たちは黙っていることはできません。長引く不況で、国民生活は大変な状況になっています。非正規雇用、不安定雇用の若者が増えていきます。大企業・財界中心の政策では、国民の暮らしはよくなりません。私たちは、雇用、教育、医療など生活上の公約の実行を強く求めます。

教育の分野では、現在は、小学校1、2年生で35人学級が実現しています。しかし、3年生以上は40人学級のままです。私たちは、30人学級の完全実施を早期に実現するように運動を進めていきます。教師の多忙化に拍車がかかっています。遅くまで仕事をしなければやり終わらないというのが現実です。

世界では、平和で公正な社会を求めらうねりが高まっています。世界の人々の願いは、戦争も核兵器もない平和な世の中に暮らすことです。その中でもわが国の日本国憲法第九条は、「戦争放棄」を理念として輝いています。私たちは草の根から憲法を守り発展させる運動を、これからも進めていきます。子どもたちに平和と明るい未来を手渡したい、それが私たちの切なる願いです。憲法を深く学び、国、県、新座市にその精神を生かした政策を実施するよう要求していくことが急務です。

いのち
生命を生み出す母親は いのち
生命を育て いのち
生命を守ることをのぞみます

女性も男性も生き生きと働き、豊かな生涯を過ごせるよう運動を進めていくことを新座母親大会の名で宣言します。

2014年11月3日

第四十回新座母親大会